

公益財団法人京都市障害者スポーツ協会

第1 法人の概要

1 代表者

理事長 芝田徳造

2 所在地

京都市左京区高野玉岡町5番地

3 電話番号

075-702-3370

4 ホームページアドレス

<http://www.kyoto-syospo.or.jp/>

5 設立年月日

昭和63年4月1日

6 基本財産

25,000千円（うち本市出えん額 25,000千円，出えん率 100.0%）

7 事業目的

京都市における障害のある人のスポーツの振興と健康の増進を図り，社会参加を促すとともに，障害のない人との共生社会の実現に努め，もって福祉の向上に寄与することを目的とする。

8 業務内容

- (1) 障害のある人のスポーツの振興事業
- (2) 障害のある人の健康の維持・増進に関する事業
- (3) 障害のある人の文化・レクリエーションの振興事業
- (4) 障害のある人への理解を進めるための事業
- (5) 障害者スポーツ施設等の運営事業
- (6) その他，この法人の目的を達成するために必要な事業

9 所管部局

保健福祉局障害保健福祉推進室（TEL075-222-4161）

10 役員名等

(1) 理事長

芝田徳造

(2) 常務理事

内山修

(3) 理事

山下琢，森津常春，前田定幸，野地芳雄，小谷吉弘，日野勝，直野信之，森田美千代，加藤博史，瀬川彰（文化市民局スポーツ担当局長），出口一行（保健福祉局障害保健福祉推進室長）

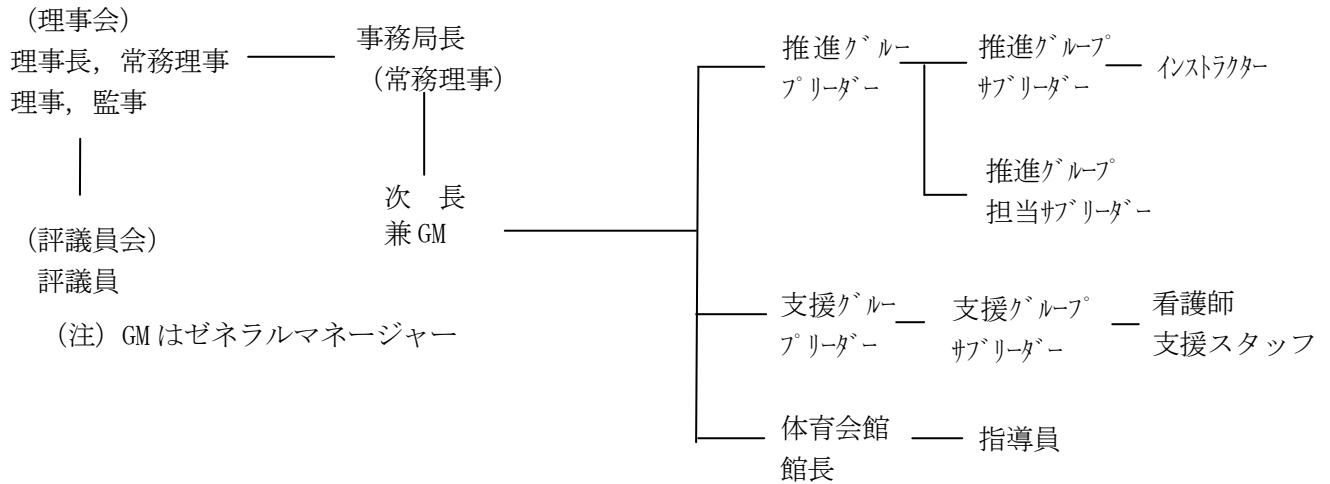
(4) 監事

堀村不器雄，池田健，大西則嘉（保健福祉局障害保健福祉推進室社会参加推進課長）

11 常勤職員数

19人（うち本市派遣職員0人）

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成 29 年度決算

(1) 事業報告

ア 障害のある人のスポーツの振興事業

(ア) 教室等開催事業

- a 京都市障害者スポーツセンター（以下：センター）
（全 36 事業，延べ 4,371 人参加）
- b 京都市障害者教養文化・体育会館（以下：体育会館）
（全 5 事業，延べ 298 人参加）

(イ) スポーツ大会等開催事業（センター・体育会館） （全 12 事業，延べ 2,303 人参加）

(ウ) 各種スポーツ体験会・つどい等の開催事業

- a センター・体育会館（全 2 事業，延べ 88 人参加）
- b センター（全 4 事業，延べ 627 人参加）
- c 体育会館（全 3 事業，延べ 517 人参加）

(エ) 講習会等開催事業

- a センター（全 6 事業，延べ 251 人参加）
- b 体育会館（全 3 事業，延べ 41 人参加）

(オ) 全国障害者スポーツ大会京都市選手団派遣事業（センター）

- a 第 17 回全国障害者スポーツ大会京都市選手団の派遣
 - (a) 選手選考会，京都市選手団連絡会議及び結団式の開催
 - (b) 強化練習会の実施（延べ 53 回）
 - (c) 京都市選手団の派遣（選手 23 人，役員 26 人）
- b 知的障害者ソフトボール大会近畿ブロック予選会の開催（センター・体育会館）

(カ) 地域でのスポーツ振興事業（センター・体育会館）（全 5 施設，107 回）

(キ) 大会等への派遣事業（センター・体育会館）

- a 資格取得等，研修のための派遣（8 人）
- b 大会等への派遣（28 人）
- c 講師としての派遣（8 人）
- d 会議等への派遣（8 人）

イ 障害のある人の健康の維持・増進に関する事業

(ア) 健康のための運動指導事業

- a センター（全 15 事業，延べ 5,851 人参加）

- b 体育会館（全5事業，延べ607人参加）
- (イ) 相談事業
 - a 医師によるスポーツ医事相談（センター）（53件）
 - b 理学療法士によるスポーツ医事相談
 - (a) センター（48件）
 - (b) 体育会館（24件）
 - c 職員による新規面談及び新規指導
 - (a) センター（個人面談454人）
 - (b) 体育会館（個人面談35人）
- ウ 障害のある人の文化・レクリエーションの振興事業
 - (ア) 文化教室等開催事業
 - a センター（全15事業，延べ2,174人・13団体参加）
 - b 体育会館（全6事業，延べ666人参加）
 - (イ) レクリエーション教室等開催事業
 - a センター・体育会館（全1事業，延べ41人参加）
 - b センター（全16事業，延べ2,995人参加）
 - c 体育会館（全5事業，延べ4,434人参加）
- エ 障害のある人への理解を進めるための事業
 - (ア) イベント等開催事業
 - a センター・体育会館（全5事業，延べ7,470人参加）
 - (イ) 交流事業
 - a センター（全4事業，延べ1,132人参加）
 - b 体育会館（全1事業，1回，延べ128人参加）
 - (ウ) 啓発事業（センター）
 - a 実習，職場体験学習等の受入れ（延べ16人）
 - b 見学等の受入れ（全13件，延べ139人）
 - c 団体等からの依頼による館内での指導（全10団体）
- オ 障害者スポーツ施設等の運営事業
 - (ア) 施設管理事業
 - a センター
 - (a) 利用者数 総利用者数176,904人 1日平均634人 開館日数279日
 - (b) 施設稼働率 79.7%（体育施設97.4%，その他49.0%）
 - (c) 施設の維持管理に関する研修等（4人派遣）
 - (d) 利用者の安全に関する取組
 - 総合消防訓練の実施（2回），日本赤十字社救急法救急員資格継続研修への派遣（2人），救急法等安全管理のための研修の実施（48回），心肺蘇生法個人練習の実施（月3回×12か月），安全運転管理者等講習への派遣（1人）
 - (e) 利用者へのサービス向上及び職員の資質向上に関する研修等
 - 手話研修の実施（24回），点字研修の実施（24回），スポーツ教室等の指導マニュアルの策定，外郭団体におけるコンプライアンス推進対策会議及び外郭団体職員講習会（主催：京都市）への派遣（1人），コンプライアンスの推進のための研修の実施（全職員対象）
 - (f) 図書室の運営（延べ2,263人利用）
 - (g) 利用中の怪我等への対応（病気84件，怪我100件）
 - b 体育会館
 - (a) 利用者数 総利用者数30,925人 1日平均115人 開館日数269日
（空調設備設置工事のため，12月11日から1月31日まで臨時閉館）

- (b) 施設稼働率 70.2% (体育施設 87.8%, その他 35.0%)
- (c) 利用者の安全に関する取組
 - 消防訓練の実施(1回), 日本赤十字社救急法救急員資格継続研修への派遣(1人),
 - 心肺蘇生法個人練習の実施(月3回×12か月), 安全運転管理者等講習への派遣(1人)
- (d) 利用者へのサービス向上及び職員の資質向上に関する研修等
 - コンプライアンスの推進のための研修の実施(全職員対象)
- (e) 利用中の怪我等への対応(病気3件, 怪我11件)
- (イ) 施設整備事業
 - a センター
 - (a) 施設・設備等の修繕等(2件) ※1件50万円以上
 - (b) 備品等の調達(2件) ※1件20万円以上
 - (c) 環境マネジメントシステム KES の継続改善実施
 - b 体育会館
 - (a) 環境マネジメントシステム KES の継続改善実施
- (ウ) 便宜供与事業
 - a センター
 - (a) 定期送迎バスの運行(総運行日数279日, 総利用者数4,823人)
 - (b) 申請による送迎バスの運行(申請団体団体数4件, 総利用者数66人)
 - b 体育会館
 - 定期送迎車の運行(総運行日数269日, 総利用者数1,012人)
- (エ) 宣伝事業
 - a 機関紙発行
 - (a) センター(全5回, 各2,000部)
 - (b) 体育会館(全5回, 各1,500部)
 - b 平成28年度事業概要(年報)の発行(500部)
 - c ホームページによる情報発信
 - (a) センター(アクセス数/年間243,242件)
 - (b) 体育会館(アクセス数/年間28,347件)
 - d センター利用カレンダーの配布
- カ その他, この法人の目的を達成するために必要な事業
 - (ア) センターにおける物品販売業(水着, 水泳帽等)
 - (イ) 体育会館における施設貸与事業

(2) 財務諸表

貸借対照表
平成30年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	19,439	15,668	3,772
未収金	880	575	305
前払金	93	83	10
仮払金	158	0	158
繰越商品	327	249	78
流動資産合計	[20,898]	[16,575]	[4,323]
2. 固定資産			
(基本財産)			
投資有価証券	25,000	25,000	0
基本財産合計	(25,000)	(25,000)	(0)
(特定資産)			
減価償却引当資産	35,965	32,758	3,207
特別修繕引当資産	60,493	60,493	0
事業平準化積立資産	108,653	108,653	0
体育会館整備引当資産	17,000	17,000	0
共済会退職給与預け金	0	9,651	△9,651
特定資産合計	(222,111)	(228,554)	(△6,444)
(その他固定資産)			
構築物	39	78	△39
車両運搬具	1,469	3,724	△2,255
什器備品	2,909	3,669	△760
ソフトウェア	1,504	1,522	△18
電話加入権	75	75	0
その他固定資産合計	(5,995)	(9,067)	(△3,072)
固定資産合計	[253,106]	[262,621]	[△9,516]
資産合計	274,003	279,196	△5,193
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	8,593	6,560	2,033
預り金	2,297	777	1,521
賞与引当金	7,964	7,575	389
流動負債合計	[18,854]	[14,912]	[3,942]
2. 固定負債			
共済会退職給付引当金	0	9,651	△9,651
固定負債合計	[0]	[9,651]	[△9,651]
負債合計	18,854	24,562	△5,708
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
京都市出えん金	25,000	25,000	0
受贈車両運搬具	374	578	△204
受贈什器備品	0	0	0
指定正味財産合計	[25,374]	[25,578]	[△204]
(うち基本財産への充当額)	(25,000)	(25,000)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[229,775]	[229,056]	[720]
(うち特定資産への充当額)	(222,111)	(218,904)	(3,207)
正味財産合計	255,149	254,634	516
負債及び正味財産合計	274,003	279,196	△5,193

正味財産増減計算書
平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	262	262	0
特定資産運用益	50	48	1
事業収益	239,364	256,213	△16,849
受取助成金	816	916	△100
雑収益	1,079	931	148
経常収益計	241,571	258,371	△16,800
(2) 経常費用			
事業費	236,362	248,418	△12,055
管理費	4,489	4,541	△52
経常費用計	240,851	252,958	△12,107
当期経常増減額	720	5,413	△4,693
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
什器備品除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	△0	0	△0
当期一般正味財産増減額	720	5,413	△4,693
一般正味財産期首残高	229,056	223,643	5,413
一般正味財産期末残高	229,775	229,056	720
II. 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	262	262	0
一般正味財産への振替額	△466	△466	0
当期指定正味財産増減額	△204	△204	0
指定正味財産期首残高	25,578	25,782	△204
指定正味財産期末残高	25,374	25,578	△204
III. 正味財産期末残高	255,149	254,634	516

2 平成30年度事業計画

(1) 事業計画の概要

ア 障害のある人のスポーツの振興事業

(ア) 教室等開催事業

- a 京都市障害者スポーツセンター（以下：センター）（全31事業）
- b 京都市障害者教養文化・体育会館（以下：体育会館）（全5事業）

(イ) スポーツ大会等開催事業（センター・体育会館）（全13事業）

(ウ) 各種スポーツ体験会・つどい等開催事業

- a センター・体育会館（全2事業）
- b センター（全6事業）
- c 体育会館（全3事業）

(エ) 講習会等開催事業

- a センター（全4事業）
- b 体育会館（全3事業）

(オ) 地域でのスポーツ振興事業（センター・体育会館）

- a 施設へのスポーツ指導のための職員派遣（全4施設）
 - (カ) 大会等への派遣事業（センター・体育会館）
- イ 障害のある人の健康の維持・増進に関する事業
 - (ア) 健康のための運動指導事業
 - a センター（全9事業）
 - b 体育会館（全5事業）
 - (イ) 相談事業
 - a センター
 - 医師、理学療法士によるスポーツ医事相談（全48回）
 - b 体育会館
 - 理学療法士によるスポーツ医事相談（全24回）
- ウ 障害のある人の文化・レクリエーションの振興事業
 - (ア) 文化教室等開催事業
 - a センター（全12事業）
 - b 体育会館（全6事業）
 - (イ) レクリエーション教室等開催事業
 - a センター（全10事業）
 - b 体育会館（全5事業）
- エ 障害のある人への理解を進めるための事業
 - (ア) イベント等開催事業（センター・体育会館）（全5事業）
 - (イ) 交流事業
 - a センター（全4事業）
 - b 体育会館（全1事業）
 - (ウ) 啓発事業（実習及び見学等の受入れ）
- オ 障害者スポーツ施設等の運営事業
 - (ア) 施設管理事業
 - a センター・体育会館
 - 日本赤十字社救急法救急講習会への職員派遣，日本赤十字社救急法救急員更新講習会への職員派遣，職員研修（手話，点字，接遇，コンプライアンス，人権，守秘義務，個人情報保護，事故防止等），災害・事故等対策訓練（総合消防訓練，心肺蘇生法等救急訓練，緊急時対応訓練等），安全管理マニュアルの見直し，安全運転管理者講習会への職員派遣，コンプライアンスの推進，利用者の意見反映（アンケート，意見箱等），人材育成
 - b センター
 - センター利用に係る業務，障害者スポーツセンター協議会への派遣，図書室の運営
 - c 体育会館
 - 体育会館利用に係る業務
 - (イ) 施設整備事業（センター）
 - a 施設の改修
 - b 備品の調達
 - c 環境マネジメントシステム KES の継続改善実施
 - (a) センター
 - (b) 体育会館
 - (ウ) 便宜供与事業（センター・体育会館） 無料送迎車両の運行
 - (エ) 宣伝事業（センター・体育会館）
 - a 機関紙の発行
 - b 事業概要（年報）の発行
 - c ウェブサイトの運営

- d 利用カレンダーの作成(センター)
- カ その他、この法人の目的を達成するために必要な事業
 - (ア) センターにおける物品販売事業
 - (イ) 体育会館における施設貸与事業

(2) 予算

正味財産増減予算書
平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	263	263	0
特定資産運用益	62	50	12
事業収益	245,067	239,162	5,905
受取助成金	825	875	△50
雑収益	680	680	0
経常収益計	246,897	241,030	5,867
(2) 経常費用			
事業費	245,284	247,205	△1,921
管理費	5,227	5,473	△246
経常費用計	250,511	252,678	△2,167
当期経常増減額	△3,614	△11,648	8,034
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△3,614	△11,648	8,034
一般正味財産期首残高	229,056	223,643	5,413
一般正味財産期末残高	225,442	211,995	13,447
II. 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	263	263	0
一般正味財産への振替額	△467	△467	0
当期指定正味財産増減額	△204	△204	0
指定正味財産期首残高	25,578	25,782	△204
指定正味財産期末残高	25,374	25,578	△204
III. 正味財産期末残高	250,816	237,573	13,243

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H27 (決算)	H28 (決算)	H29 (決算)	H30 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	246,894	258,371	241,571	246,897
	当期経常増減額	14,749	5,413	720	△3,614
	当期正味財産増減額	14,488	5,209	516	△3,818
貸借対照表	総資産	283,525	279,196	274,003	
	総負債	34,100	24,562	18,854	
	正味財産	249,425	254,634	255,149	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H27 (決算)	H28 (決算)	H29 (決算)	H30 (予算)
委託料	京都市障害者スポーツセンター管理運営委託(指定管理)	208,364 (※)	208,623 (※)	195,710 (※)	195,850 (※)
	京都市障害者教養文化・体育会館管理運営委託(指定管理)	21,595 (※)	21,661 (※)	21,069 (※)	22,812 (※)
	全国障害者スポーツ大会派遣事業委託		17,984	13,612	

(※) 一部利用料金制

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> 健全な財政運営であると言えるが、今後も節電等を行い、支出の削減に努める必要はある。
事業面	<ul style="list-style-type: none"> 一部施設の空調設置工事にもなう臨時閉館により、総利用者数は減少したが、積極的な事業の展開により、1日平均の利用者数、障害のある人の利用割合が増加した。 パラリンピック正式競技の紹介や様々なパラスポーツの体験会を開催・実施することで障害者スポーツの裾野を広げることに努めた。

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> 委託料収入の減少により経常収益は減収したが、経費節減等の取組により、引き続き、当期経常増減額及び当期正味財産増減額の黒字を維持している。
事業面	<ul style="list-style-type: none"> 運営する2施設の利用者数は堅調に推移している。 引き続き、本市における障害者スポーツの普及・啓発に取り組んでほしい。